

分類	分類名	No		評価
D	ソーシャルワーク コンピテンシー	22	ソーシャルワーク実践に関する知識、具体的な実践理論、技術を理解し、実習において実践している	1 2 3 4 5 N
		23	社会全体のニーズと社会問題について理解し、実習において実践している	1 2 3 4 5 N
		24	ソーシャルワークの専門性について理解し、実習において実践している	1 2 3 4 5 N
		25	学校や実習の場で受けたスーパービジョンの結果を実習における専門性の向上に役立てようとしている	1 2 3 4 5 N
		26	実習において行う実践や様々な行動に責任が伴うことを自覚している	1 2 3 4 5 N
		27	ソーシャルワークの価値と倫理について理解し、実習において実践している	1 2 3 4 5 N
		28	人権、権利擁護について理解し、実習において実践している	1 2 3 4 5 N
E	ソーシャルワーク実践 プロセス	29	ケースに関する事実を客観的・主観的の両側面から捉えようとしている	1 2 3 4 5 N
		30	アセスメントスキルを修得している	1 2 3 4 5 N
		31	チームアプローチの視点を持っている	1 2 3 4 5 N
		32	個々の利用者に応じた援助の展開の仕方を理解し、実習において実践している	1 2 3 4 5 N
		33	守秘義務を理解し、実習において実践している	1 2 3 4 5 N
		34	利用者の個別性を尊重している	1 2 3 4 5 N
		35	自分自身が行ったソーシャルワーク実践の結果に適切な評価をしている	1 2 3 4 5 N
		36	問題解決結果に対して客観的な評価をしている	1 2 3 4 5 N
37	記録や情報を適切に管理している	1 2 3 4 5 N		
F	書く・話す・聴く・観察する 技能	38	実習ノートやケース記録、レポート等において、事実の羅列のみでなく、自分の見解を述べている	1 2 3 4 5 N
		39	観察・実践を踏まえた記録を書いている	1 2 3 4 5 N
		40	適切にメモをとっている	1 2 3 4 5 N
		41	効果的な言語的コミュニケーションを行う	1 2 3 4 5 N
		42	効果的な非言語的コミュニケーションを行う	1 2 3 4 5 N
		43	面接技術を習得している	1 2 3 4 5 N
		44	傾聴スキルを習得している	1 2 3 4 5 N
		57	利用者等を観察し、個々の特徴を捉えている	1 2 3 4 5 N
46	相手の言葉の背後にある気持ちやニーズ等に気づこうとしている	1 2 3 4 5 N		

設問8 上記の評価項目について、文章や内容が理解できたかどうかについて、適切な項目に○印を記入して下さい。実習で行った、行わなかった等に関係なく、項目の理解についてのみ回答して下さい。

1 ほとんど理解できない 2 やや理解できない 3 やや理解できた 4 よく理解できた

分類	分類名	No		評価
A'	基本的・社会的能力理解	1	適切な礼儀が身についている	1 2 3 4
		2	相手に応じた適切な話し方をする	1 2 3 4
		3	適切な身なりや服装をする	1 2 3 4
		4	心身ともに適切な状態を維持している	1 2 3 4
		5	課題等を期日までに提出するよう行動している	1 2 3 4
		6	自分の苦手な人を避けたりせず、誰とでも協調性を持って接する	1 2 3 4
B'	実習準備態勢理解	7	自己覚知ができるよう努力している	1 2 3 4
		8	様々な体験を自分なりに受け止め、その体験を解釈し、自らの行動につなげている	1 2 3 4
		9	同じ失敗を何度も繰り返さないように取り組む姿勢がある	1 2 3 4
		10	実習先施設等についての情報収集をしており、実習先施設等について理解し、施設等のイメージを把握している。	1 2 3 4
		11	実習先施設等の内外の関連するシステムについて把握している	1 2 3 4
		12	ソーシャルワーク実践とケアワーク実践、保育実践等との違いを理解している	1 2 3 4
C'	実習計画並びに実習計画の執行等理解	13	自分なりの問題意識を持ち、実習についてのモチベーションを持っている	1 2 3 4
		14	実習目標が明確である	1 2 3 4
		15	的確に実習計画書を作成する	1 2 3 4
		16	実習計画を意識した行動をとる	1 2 3 4
		17	的確に実習計画の変更を行う	1 2 3 4
		18	自分の日々の実習目標に関する成果を的確に評価する	1 2 3 4
		19	実習終了時に、自分の全体の実習目標に関する成果を的確に評価する	1 2 3 4
		20	その日の実習体験内容の他に一日の実習の反省点、感想、指導を受けたこと、疑問点等についてまとめている	1 2 3 4
D'	ソーシャルワークコンピテンシー理解	21	実習中の不安やトラブルに的確に対応する	1 2 3 4
		22	ソーシャルワーク実践に関する知識、具体的な実践理論、技術を理解し、実習において実践している	1 2 3 4
		23	社会全体のニーズと社会問題について理解し、実習において実践している	1 2 3 4
		24	ソーシャルワークの専門性について理解し、実習において実践している	1 2 3 4
		25	学校や実習の場で受けたスーパービジョンの結果を実習における専門性の向上に役立てようとしている	1 2 3 4
		26	実習において行う実践や様々な行動に責任が伴うことを自覚している	1 2 3 4
		27	ソーシャルワークの価値と倫理について理解し、実習において実践している	1 2 3 4
		28	人権、権利擁護について理解し、実習において実践している	1 2 3 4

社会福祉士コンピテンシー 学生へのプリ調査 実施結果(単純集計)

設問	選択肢	内容	回答数	比率
設問1 所属	1	大学院	3	0.5%
	2	大学	640	99.5%
	3	短期大学	0	0.0%
	4	通学制社会福祉士養成校	0	0.0%
	5	通信制社会福祉士養成校	0	0.0%
	6	上記以外の専門学校	0	0.0%
	7	その他	0	0.0%
設問2 性別	1	男	169	26.5%
	2	女	469	73.5%
設問3 学年	1	1年次	0	0.0%
	2	2年次	63	9.8%
	3	3年次	467	72.7%
	4	4年次	112	17.4%
設問4 年齢	1	10代	17	2.6%
	2	20代	609	94.7%
	3	30代	8	1.2%
	4	40代	4	0.6%
	5	50代	5	0.8%
設問5 実習	1	実習開始前	48	7.5%
	2	実習継続中	28	4.4%
	3	実習終了後	564	88.0%
	4	その他	1	0.2%
設問6 実習先種類	1	相談機関	48	7.6%
	2	社会福祉協議会	49	7.8%
	3	児童福祉法関連施設	151	24.0%
	4	老人福祉法関連施設	186	29.5%
	5	身体障害者福祉法関連施設	39	6.2%
	6	知的障害者福祉法関連施設	64	10.2%
	7	生活保護法関連施設	5	0.8%
	8	売春防止法関連施設	1	0.2%
	9	異なる種別	74	11.7%
	10	その他	13	2.1%

大学CD	大学名	プレ調査 回収数	設問9 (自由回答)
10	東洋大学	83	6
20	上智大学	18	7
30	北星大学	175	18
40	立命館大学	114	24
50	立教大学	71	5
60	東京国際大学	41	
70	川福大学	87	20
80	愛知みずほ大学	36	
90	新潟青陵大学	13	
100	(西原先生)	5	4
		643	84

属性別クロス集計結果

Table with columns for '属性No', '内容', '性別', '学年', '期間3', '期間5', '期間6', '学習先', and data values. It is organized into two main sections: 'A 基本的社会的能力' and 'B 学習標準'.

属性別クロス集計結果

Table with columns: 設問No., 内容, 性別 (男/女), 設問2 (男/女), 設問3 (1年/2年/3年/4年), 設問5 (開始前/継続中/終了後/その他), 設問6 (1/2/3/4/5/6/7/8/9/10), 設問7 (1-45).

Table with columns: 設問No., 内容, 性別 (男/女), 設問2 (男/女), 設問3 (1年/2年/3年/4年), 設問5 (開始前/継続中/終了後/その他), 設問6 (1/2/3/4/5/6/7/8/9/10), 設問7 (1-45).

異性別クロス集計結果

Table with columns for question number, gender, and years 1-4, and rows for various categories like '実習先', '学習目標', '学習計画', '学習計画の策定', '学習計画の実施', '学習計画の評価', '学習計画の振り返り', and '学習計画の修正'.

異性別クロス集計結果

設問No.	内容	設問2 性別		設問3 学年				設問5 時期 開始前	設問6 実習先	10																	
		男	女	1年	2年	3年	4年			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10								
設問B-27	理解と実践	選択性	3	191	247	28	208	41	273	17	14	255	0	286	21	17	61	93	16	19	2	1	30	10	270		
		人数計	4	81	171	252	23	169	48	238	3	8	216	0	222	10	12	64	56	13	30	0	0	31	1	217	
設問B-28	人間の理解と実践	選択性	1	4	8	1	5	4	10	1	0	5	0	6	0	1	0	2	0	2	0	0	1	0	0	6	
		人数計	2	27	35	15	7	5	27	1	0	12	0	13	0	4	3	3	1	1	0	0	0	0	0	12	
設問B-29	事業の主観的・客観的把握	選択性	3	58	116	177	24	108	26	158	20	4	140	1	165	9	12	36	59	7	13	1	0	14	5	156	
		人数計	4	81	343	424	22	335	84	441	24	23	425	0	481	39	30	112	121	29	48	4	1	59	8	451	
設問B-30	アセスメントスキ	選択性	1	12	2	14	4	2	8	2	1	4	0	7	2	1	0	0	3	0	2	0	0	0	0	6	
		人数計	2	37	9	46	20	10	4	34	2	1	14	0	17	0	3	2	6	2	2	0	0	0	0	11	
設問B-31	チームアプローチ	選択性	3	74	91	165	25	116	25	166	19	5	148	1	173	10	15	35	59	6	13	1	0	15	9	163	
		人数計	4	41	370	411	8	363	81	452	25	23	451	1	500	41	35	120	126	27	48	5	1	61	8	472	
設問B-32	運動の個別対応	選択性	1	19	1	20	1	3	1	13	1	0	1	0	7	0	1	0	3	0	3	0	0	0	0	7	
		人数計	2	48	10	58	20	13	2	35	1	0	16	0	17	1	1	2	7	1	2	0	0	2	0	16	
設問B-33	守秘義務	選択性	3	56	72	128	22	80	23	125	7	4	104	1	116	9	8	26	39	9	5	0	0	0	9	110	
		人数計	4	40	389	429	5	370	86	461	37	25	468	0	530	38	38	123	138	27	52	5	1	63	12	497	
設問B-34	個別性の尊重	選択性	1	2	3	3	2	13	2	20	1	0	6	0	7	0	4	0	4	0	3	0	0	1	0	8	
		人数計	2	163	470	633	0	581	460	111	629	48	29	585	1	661	48	46	151	183	37	64	5	1	73	13	621
設問B-35	実践結果の評価	選択性	1	4	2	6	3	1	2	6	2	2	3	0	7	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	4	
		人数計	2	19	37	56	4	43	4	51	6	2	48	0	56	3	3	10	18	4	7	0	0	0	5	1	
設問B-36	問題解決結果	選択性	3	44	175	219	22	177	35	234	20	11	220	1	252	19	19	49	81	8	23	2	1	31	7	240	
		人数計	4	96	257	353	29	241	71	341	18	14	317	0	349	25	23	85	25	33	3	0	38	5	329		
設問B-37	ワークプロセス	選択性	1	30	472	635	0	581	463	112	632	46	29	584	1	660	48	45	151	185	37	64	5	1	72	13	620
		人数計	1	1	1	3	4	2	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

社会福祉士コンピテンシー 学生へのプリ調査（自由意見一覧）

分類	大学 CD	学生 ID	設問 9	判定
目的・ 意図	30	117	コンピテンシーをする意味がわからない。実習に絶対に必須なことと思えない。	×
	30	173	設問 7 と 8 の違いがあまり理解できません。同じ質問を 2 度されたようにしか思えません。どういった意図があるのかまでは言わないまでも、簡単な説明が今回の設問の仕方よりもあったらよいと思いました。	×
	40	57	各項目で何を聞かれているのかは理解できますが、その項目を設定する意図が見えないものが多いと思います。実習先によって学ぶ内容は異なり、それを画一的な基準ではかることの意味がよく理解できません。特に問 8 を設定した意図が理解できません。学生が専門用語をどれだけ理解できているのかをはかりたいのでしょうか？コンピテンシーやプリザーベイなどは英語を使わなくても十分日本語でいいのではないのでしょうか？	×
	40	82	設問 7 の段階評価の意味がわかりにくかった。このアンケートをすると、どうなるかという趣旨も伝わりにくかった。	×
	30	73	どんな調査でもそうですが、せかされて調査を行って何の意味があるのでしょうか。回答する時間がいつも足りなくて、不信感を持っています。	△
基準 (適切とは)	20	—	何をもち「的確」「適切」であるのか、「習得」と断定できるレベルはどの程度のものであるのかの判断が難しかった。	×
	30	4	適切な身なり、服装の意味がわからない。では何が不適切なのか？	×
	30	45	「適切な」という表現はわからない。何が「適切な」のかを理解できない。	×
	30	112	内容はとても理解できますが、多少曖昧な捉え方をしてしまうような記述がありました。もう少し具体的な質問項目にしたいです。また、内容よりも評価尺度の方がわかりにくかったと思います。	×
	30	130	専門用語が多すぎて実際の感想と結びつきづらと思います。“適切”という語が多いですが、何が“適切”なのかわかりづらと感じました。	×
	40	74	似たような項目や、この項目は考え方によっては○番に含まれるのではないかと、思う項目があったので、それぞれ自分なりに違いを考えて評価しましたが、適切に理解している、と書いていても(項目を)、そちらの理解と重なっているのが気になることです。	×
	50	—	「適切な」「効果的な」「適確な」という形容詞が項目内に入っていると、何が「適切か、効果的か、適確か」という疑問に捉われてしまい、とても答えにくい。例えば、メモはとっているが、そのとり方が適切であったかどうかの評価はむずかしいので、その項目に出会ったときに悩んだ。	×
70	—	「的確に」という言葉が入ると評価の段階に迷いました。文章が難しく感じました	×	
基準	10	23	項目よりも評価基準が長くてわかりにくかった。	×
	10	65	質問項目、回答の基準ともにもまわりくどいところがあり、そのせいで意味がよくわからないところもあるので、もっと単純にしてよいと思う。	×
	30	1	もう少し細かな項目が必要かと思う。それぞれの実習分野別に区分した質問紙を作成すべきだ。	×
	30	5	評価項目の基準について、 ・1 と 2 の中間の評価がほしい。 ex) 完全にではないが項目の内容を理解しているが、実践できていない。 ・5 の“正しく適切に”という判断は難しく、個人的には“対人関係のあり方の一部として実践している”という部分に対してのみ反応した。	×
	40	1	評価の付け方が難しかったです。	×

分類	大学 CD	学生 ID	設問 9	判定
基準	40	3	実習後といってもスキルの修得に関しては表現しにくい部分があると思います。難しい言葉があったので、時間がかかります。	×
	40	36	設問がわかりにくく、解答しづらい。	×
	40	60	設問 7 の解答(1~5、N)では答えにくい又は当てはまらない質問項目があると思います。また、文字体が読みにくいです。質問項目が難しく、わかりにくいです。	×
	70	—	設問7は、どれに当てはまるのか分かりづらい評価の分け方であった。項目はほとんど理解できたが、評価がつけにくかった	×
	100	2	項目と解答の内容があってない。理解するのが困難。	×
	100	3	設問7の1実習生は～ 2. 3. 4・・・というスケールの立て方がよくわからなかった。	×
	40	69	現場実習終了後に回答するには、わかりづらい項目があった。	△
	70	—	項目は利用者と直接関わるような施設を対象にしていると思った。間接的に関わる人が多い実習先の場合はこたえづらいものもあった	△
文章表現	10	69	専門用語を使うときは説明がないと理解できなかったです	×
	20	—	回答の評価項目の 5「実習生(自分)自身の対人関係のあり方の一部として～」の文章がわかりにくいと感じました。	×
	20	—	46 のような実習の意思を評価する項目は、自己評価においても第三者評価においても有益でないと思われる。	×
	20	—	27 のソーシャルワークの価値と倫理について理解しとあるが、その価値と倫理をふまえた上で、何が実践できているのかを問うているのか、問題の意図が見えづらい。	×
	30	2	設問 8 の理解ができているかどうかという質問の意図がよくわかりませんでした。	×
	30	3	設問の表現が難しい。硬い。質問に答えづらい。	×
	30	7	評価項目の文章が難しく、あまり答えになっていない。	×
	30	8	ソーシャルワーク実践におけるジェネラリストモデルをどのように捉えてよいか、No.12、22 がわかりづらかった。	×
	30	131	質問の仕方がややこしくてわかりにくいところがあり、何回も同じ質問がある。	×
	30	147	少し質問文が難しいと感じました。自己評価が的確にできるように見直すべきです。	×
	40	7	設問 7 について、単的すぎて、意味も複数考えられる文が多いように思う。	×
	40	17	わかりづらい質問文もあった。	×
	40	47	設問 7 からの自分自身の評価について、1~N までの評価文が今ひとつピンとこなかった。また、それに伴う自己評価の内容の文と適確な評価値が合わない所等があった。	×
	40	48	設問に対し、1~N の決められた回答(文章)のみでは答えにくいものがある気がしました。1~N の回答群のちがいがいい(特に 4 と 5)をもう少しわかりやすく明確にしてほしかったです。	×
	40	58	言葉が難しすぎ!!コンピテンシーって何ですか!!プリサーベイって何?!そこから分かりません。	×
40	59	「コンピテンシー」はどういう意味なのか知りたいです。文章が難しく分かりにくい印象を受けました。	×	
40	73	ソーシャルワークの専門性理解などの項目は、もう少し具体的な方が回答しやすい。	×	

分類	大学 CD	学生 ID	設問 9	判定
文章表現	50	—	評価の基準(1~5)の内容がわかりずらく、選びにくかった。	×
	70	—	難しい単語が多く、何を聞き出したいのか分かりづらい面がある	×
	70	—	質問の意味がわからないところがあった	×
	70	—	項目の内容が難しい部分があった。項目にあてはまる内容を広く考えてしまい難しかったと思う	×
	70	—	No24 の項目では、「ソーシャルワークの専門性」については専門家の間でも意見が分かれているところもあるようなので答えにくい	×
	70	—	もう少しわかりやすい伝え方にしてほしい	×
	70	—	たまに専門用語(アセスメントスキル傾聴スキルなど)が出て、理解しづらい項目がありました	×
	100	4	設問7がわかりづらい。実習前か継続中か終了後の学生にアンケートをとるのであれば、分けた方がいいと思う。分けた方が評価基準とする1~Nがわかりやすくなるのではないかと。分けて評価基準の言い回しを変えるべき。 A-6の自分の苦手な人・・・とあるが、自分の苦手な人を避けずに対応することがいいとは限らない。実習で他傷行為のある人から自分の身を守ることも大切。この間の意図がよくわからない。 B-9意味がわからない。 D ソーシャルワークコンピテンシーって何ですか。意味がわかりづらい。 実習前、継続中、終了後を同じ項目でアンケートを行っても意味があるとは思えない。	×
	100	5	設問が回りくどい。	×
	10	71	もう少しわかりやすい言葉で書いた方がいいところもあるが概ね大丈夫だとは思う。	△
70	—	まず、コンピテンシーという言葉の意味が分かりません。勉強不足なのでしょう。プリサーベイもなんですか。これが分からないので、このアンケートの目的がよく分かりません。あと、設問 8 を作る意味は何ですか。先に設問 7 で自分自身について答えているので、その時点で文が理解できていないはず。もし同じ質問をするなら、一つの設問で答えを二つにすればよいのでは。どちらも「1234」でわかりにくい気もするので、片方を「ABCD」にするとかして。	△	
項目数	40	19	項目が多くて少ししんどかったです。	×
	40	61	項目が多すぎて、途中で意味がわからなくなりました。	×
	50	—	同じことを聞かれているような項目がいくつかあった。項目が多すぎるので、一つ一つの項目に対して吟味する余裕がない。	×
再確認	10	62	項目の立て方(本調査)で、改めて自分には何ができていて何ができていないのかまた、今後何が必要とされるのかということを再確認することができてよかった。	○
	20	—	実習にどのようなことが求められているのか、本調査を通してもう一度確認することができた。成文化されているため、無意識下にあることも表層にて意識することができ、自身にとっても有意義な調査であり、あらためて自分を振り返るよい機会となった。	○
	20	—	変な話ですが、この項目を読んで、今までやってきたことの再確認、見えてなかった視点の把握が行えました。ありがとうございます。	○
	40	68	実習前からこのようなことを意識しておく必要があると思うので、実習前に調査をして、実習中、実習後と比較するのは必要だと思う。	○

分類	大学 CD	学生 ID	設問 9	判定
再確認	40	99	言葉の理解も兼ね合わせてのアンケートははじめてで、「なるほど！」と思われました。	○
	40	15	社会福祉援助技術論でしたなあと思ったが、単語の意味がわからないものがいくつかあった。実習中にここまでのことを考えたことは一度もなく、福祉現場で働くにあたってこころへの知識の理解が必要なのかと思うと、あせるとともに不安がでてきた。しかし、もう一度教科書を読んでみようという意欲がわいてきた。	○
時期	70	—	評価の選択肢の意味が捉えにくく、ページがまたがっていたので、やりづらかったです。また、実習前の段階の私にとって、どこまで答えればよいのかわかりにくかったです	△
	70	—	まだ実習に行っていないのに、質問が実習に行った後のような考え方だったので、よくわかりませんでした	△
	70	—	設問8は何を問われていて、何を答えればいいのかよくわからなかった。実習前ではどこまで回答し、どこから「N」と回答すればよいかわからなかった	△
	70	—	まだ実習前の学生なのだが設問7の記入事項が私には答えられるものが少なかったのでアンケートを進めていくうえで困惑した	△
	70	—	まだ実習に行っていないので、どの項目に答えたら良いのかがよくわからなかった	△
	70	—	まだ実習を行っていないので、設問8は少しやりにくかった	△
	70	—	実習前では回答できない	△
その他	10	71	やりづらかったです	×
	30	6	同じ質問が繰り返されているのが面倒。	×
	30	89	実習日誌は施設の方に見せるため、自分の見解を述べるのにかなりの制限があったので、述べたくても述べられない状況を理解してほしい。	×
	30	133	難しいです。	×
	40	86	設問 7、8 がわかりづらかった。	×
	50	—	少し難しかった。	×
	70	—	わかりづらかった	×
	70	—	少しわかりにくいところがあった。設問7と8が同じ内容だが、答え方が違うので少し戸惑う	×
	70	—	時々どのように解答すればいいかわからなかった	×
	70	—	～の技術を習得している～に理解し実践しているという項目がありますが、これらを 1 カ月の実習に求めるには大きすぎるのではないのでしょうか。また、実習生としてそれらを習得していると言い切ってしまうのはどうでしょうか。私たちは実習に行って、日常の一場面をみてきたにすぎず、技術を習得したという思いこみがあってはいけないように思います。実習を効果あるものにするため、学内の指導はもちろんですが、実習先の指導者の資質の影響がもっとも大きいと考えます。そのため、学生が平等な機会が与えられていないような気がします	×
	20	—	24 のソーシャルワーカーの専門性に対して理解しのところで、理解はしているが実習生としては専門性を実践できない場合も多い。たとえば病院実習で専門性とは何か分かっている、それを行うのは MSW でないのだからできない。この場合、自分の能力が足りなかったのだからできないというよりは、実習生という立場上可能ではない、ということになるのではないかと思う。	△

分類	大学 CD	学生 ID	設問 9	判定
その他	40	45	私は社会人で、ヘルパーや介護福祉の勉強を重ねている。今の実習のみでは、不備があるように思う。傾聴、スキルや 46、33、41、42、30、他、もっと現場を読み、他人の心を思いやる、技術を学ぶ必要がある	△
	40	56	チームアプローチとか、実習ではなかなかつかめなかった。	△
	40	76	設問 7 と設問 8 は逆にした方が答えやすいのではないだろうか？	△
	40	81	はじめに質問して、その後に項目の文章をチェックすることで、どこまで本当は理解できているかが分かる。集計結果に興味を持った。	△
	40	100	統計を詳しく知りたい。今後の実習に生かして欲しい。	○
	70		内容は適切でした	○

判定 ×：否定的意見（改善要望や疑問など）

○：肯定的意見

△：上記の中間的意見